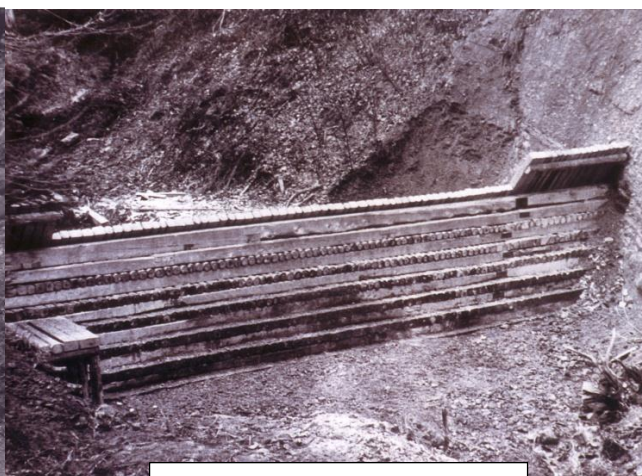


9 先人の知恵とヒバの耐久性を伝える木製堰堤

青森県（五所川原市）



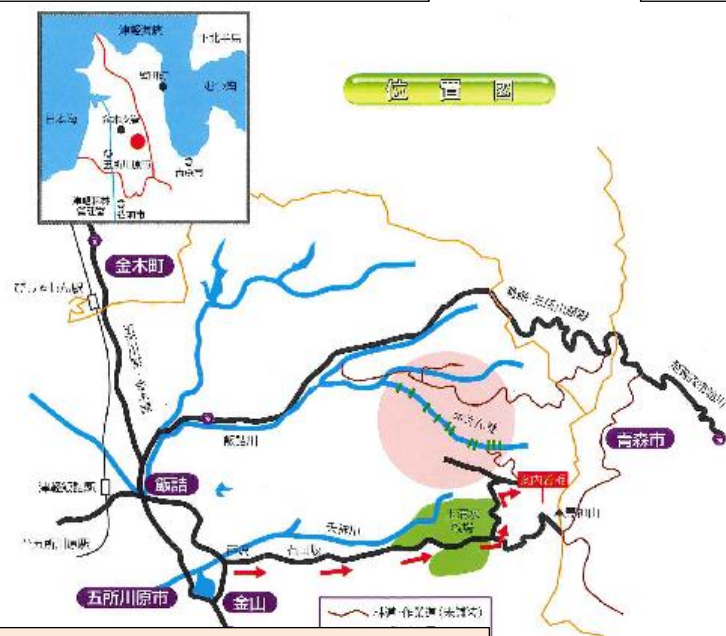
施工中（昭和28年）



完成（昭和29年）



現在の状況（平成25年）



○所在場所

青森県五所川原市大字飯詰字飯詰山国有林

○施設・工法の概要

木製堰堤 11基

○解説

ここ坪毛沢は、豪雨のたびに人家や農地に甚大な被害をもたらし、地域住民から暴れ沢として恐れられていました。

資材運搬路のなかった当時（大正5年～昭和33年）、現地資材のヒバ被害木を活用し、先人の知恵とヒバの持つ特徴である耐久性を活かして施工されています。

これら木製堰堤は、溪岸及び溪床を固定して、山腹の崩壊及び不安定土砂の移動を防止し、下流域への土砂流出を抑止しています。

現在、多少の損傷はあるものの、半世紀以上の年月が経過した今でも、本来の役割を十分に果たし、地域の人々の生活を守り続けています。